

令和6年度宮城県石油コンビナート等防災訓練について

令和6年10月22日（水）、仙台地区石油コンビナート等特別防災区域を会場に令和6年度宮城県石油コンビナート等防災訓練が行われました。

宮城県内陸を震源とする地震が発生、仙台市で最大震度6弱を観測し、仙台地区石油コンビナート等特別防災区域の施設から危険物等の漏洩及び流出等が発生し、火災に発展したとの想定で実施され、宮城県、各市町、警察、海上保安部、自衛隊、消防をはじめとする関係15機関205名が参加しました。

訓練は、関係機関による現地防災本部設置運営訓練から始まり、当消防本部はタンク火災防御訓練に高所放水車、大型化学車、泡原液搬送車が参加し、訓練参加機関の消防車両合計22台が連携して一斉放水が行われました。また、海上訓練には消防艇「さくら」が参加し、海上に流出した油への対応に訓練参加の3機関共同で海域警戒を実施しました。

今後も引き続き各関係機関との緊密な連携を強化し、石油コンビナート等特別防災区域での災害対応力の向上に努め、地域の皆様へ更なる「安心・安全」を提供できるよう努めてまいります。



現地防災本部会議（関係機関参集）



タンク火災防御（一斉放水）



海域警戒（消防艇「さくら」）



閉会式



お問い合わせ
塩釜地区消防事務組合消防本部
警防課消防係 ☎022-361-1620